

クイズ【裁判とは一体「誰を」裁く裁判でしょう？】

どうもゆうです！

こんにちは！！

さてさて、今日は表題に書いた

クイズ【裁判とは「誰を」裁く裁判でしょう？】ということについて

編集後記で扱って生きたいと思います。

これは実は私が早稲田の政治学科時代の1年生とかそのあたりに
初めて習ったことだったんですが、そこでちょっと衝撃、を受けたこと
なんですね。

その知識ってのは大学に行った人たちに独占されるものであっては
いけなくて、民衆が自立して笑って生活するために
公益性が高い知識・情報だから

多くの読者さんにもシェアしたい、って

今日は思いました。

なぜか？というとやはり ASKA さんの覚せい剤報道ですね。

ここで警察とマスコミが結託した姿が見られるんだけど

これはある意味日本ではもうお馴染みの光景ではあるのだけど

ほとんどの人がこの構造的な問題を

何十年も言論しておりません。

私たちは「ヒラリー優勢とずっと報道し続けたマスコミが

次は ASKA 逮捕だ〜と騒ぎ出した」という見方を取る必要があるのだけど

それでも民衆はマスコミを今回の報道で芸能人報道とはいえ、

妄信してます。

今回の問題を理解するには知識の土台として

「裁判とは誰を裁く裁判か？」という土台がないと分かりませんから

そして、

これは実はもう日本以外のヨーロッパアメリカなど先進国知識人の

間では常識中の常識なので、

編集後記で多くの日本人に

「近代デモクラシーの要諦(ようたい)」を

私が知る限り、伝えたいと思っています。



クイズ【裁判とは「誰を」裁く裁判でしょう？】



さてさて、私は最近日本に一時帰国しているので

日本のメディアの報道をよく見ております。

それでちょっと恐ろしいな、というか他の近代デモクラシー体制を

とってる先進国ではこの報道ってまず存在しないだろうな、

と思ったのが ASKA 報道です。

私は ASKA さんがシャブやってるのかどうか、それは本人しか

分かりませんから、それは分からないという立場ですが

が、今回一連の警察発表、およびマスコミ報道の流れって

やはり大きな問題がある、と思います。

これは清原の件もそうだし、あとは小沢鳩山報道のときもそうだし

植草さんの冤罪事件についても、そう。

そして私は「近代デモクラシー」とか言うけど日本って

一応表向きは民主主義、民主政体を装ってるはずなんだけど

この報道を見ると日本が近代デモクラシーなんてとんでもない、

北朝鮮と同じ国家社会主義とかもしくは独裁国家と一緒に政治体制じゃん！

っていうのを思ったわけです。

それで・・・この話を理解するためにやはり

「原理原則」が必要になりますね。これはFXでも株でもアフィリエイトでも

原理原則が大事でありますでしょ？

それと同じで社会事象の見方をしっかり見るためには

「原理原則」を理解していないといけません。

それで今日は私やあなたが住んでる日本ですが

その日本は民主主義を一応掲げています。

ここでは民主主義と言わず正確に近代デモクラシーと言います。

それで今回はこの近代デモクラシーの原理原則、これを

あなたにお伝えしたいんですね。

私が政治学科で1年生くらいに学んだことなんだけど

そういう知識って一部の人しか今は得られていない状況だし

それをメルマガで多くの識字できる人に学歴とか職歴関係なく

シェアして思考力を提供するの大事である、って私なりの

考え方からになります。

さて、それで暴騰の

クイズ【裁判とは一体「誰を」裁く裁判でしょう？】

について回答したい、と思います。

これ、実は東大生でも答えられない内容ですから、

答えられないのは当然なんだけど

「答えられないとまずい内容」なんです。

だからそれを書く。

それで今回のクイズというのは

【裁判とは一体「誰を」裁く裁判でしょう？】

裁判とは誰の裁判ですか？

そこで裁かれる人は誰ですか？

というものなんだけど、もしここで

「被告」と答えた人ははっきりいうと

大はずれ、です。

本当に大声で「はずれー！！」って言わないといけないくらい
はずれ、です。

これももう政治学を専攻していたら落第レベルなんです。

が、「北朝鮮のような反近代デモクラシー国家では正解」である。

それでまたじゃあ「誰を裁く裁判か」で

「犯罪者」という「レベルの回答」が実は日本の9割以上を
占めるだろうけど、

これは重要なことなんだけど

「裁判が終わるまでは、どこにも犯罪者なんていません」

これが近代デモクラシーの考え方です。

どんなにその人がシャブ中であっても、どんなに重い罪の
容疑をかけられても、

判決が下りて確定するまでは、その人は無実の人と見なされないといけない

というのが近代デモクラシーの基礎的な考え方なんですね。

だから例えば今 ASKA さんが逮捕されたからといって

彼を犯罪者のように報道するってのはこれはもう

近代デモクラシーのデの字もマスコミも、そして警察も分かっていない

ということであります。

それで上記

【裁判とは一体「誰を」裁く裁判でしょう？】

の回答をお伝えしますが、

正解を言うと

「裁判で裁かれる人というのは、検事、であります。

~~~~~  
デモクラシー裁判とは検事への裁判のことである」  
~~~~~

のです。

これ驚きますでしょう？けど本当にそうなんですよ。

というか日本全体が今原始人状態になっていて

この近代デモクラシーの当たり前の考え方を小学校～中学校で

「わざと教えない」ということをされているからみんな

「知らない」んですね。

なぜ教えないか、というと簡単に行政の官僚たちが民衆を自由に「プロパガンダして洗脳できるから」であります。

それでこの近代デモクラシーの原理原則ってのを「ほとんどの日本人は」知りません。

だから東大生の友人とかいたら聞いてみてください。

答えられる人もほんと時々いるけどほとんど答えられない。

京大生とかは時々答えられる人がいたりするけどそれでも少数であって

検事も、弁護士も裁判官も、誰も知らない。

だから大多数の日本人というのは原始人状態の知識水準にさせられていて、この「デモクラシーとは何か」を知らないんですね。

前にシールズが「民主主義って何だ？」って言った。

けど彼らもおそらく知らない・・・(笑)

だから私は日本の教育問題の根深さについてすごい考えるんですよ。

「知らない」から民衆は正しい原理原則を用いて反論できないから

コントロールされて貧乏にされて

増税されて年金減額されるんですね、分かりますかね。

それで、「その裁判がデモクラシー裁判であるのか、

もしくは中世の魔女裁判であるのか？」

をどう「判断」できるでしょうか？？

その判断のための条件とは何だろう？？

答えられますかね。

これは刑事裁判において、裁判官は被告の味方であること

これなんです。

中学校くらいで「三権分立(さんけんぶんりゅう)」って

習いましたでしょ。これを学んだ人はこれが分かったかも知れない。

そう、だからもちろん裁判官は公正でなければいけないのですが

しかし「中立であってはならない」のですね。

だから日本だと「中立ならなんでも正義」というのがあるけど

近代デモクラシー裁判で「中立は悪」となります。

というのは裁判ってのは三権分立の立法権、行政権、司法権の
司法にあたるけど

この司法が 警察とか公務員とかの行政が横暴を働いてきたときに
民衆を守るってのが三権分立の考え方としてあるんです。

だから、裁判官は公正であることは大事だけど

「中立であってはならない」というのが近代デモクラシーのもので

行政権力である原告の検事、から被告の権利を守る、
~~~~~

これが近代デモクラシーの考え方になります。

だから、裁判が終わるまでは、犯罪者なんて「存在しない」し、

そして、裁判で裁かれるのは被告ではなく「検事」であります。

これが近代デモクラシーの要諦(ようたい)なんですね。

んで私はこのことを早稲田の政治経済学科で初めて

習ったんですよ。

当時すごいその考え方に驚いたというか

「こんな大事なことをちゃんと教えてもらえてなかった」

という怒りがあって、

これって小学校や中学校の義務教育で教えられないといけないこと  
なんです。

けど日本の生徒たちはこれを「教えられないまま大人になる」  
んですね。

近代デモクラシーに無知なまま大人になって、  
その人たちが大半を占めるのが今の日本社会になってしまってるけど  
そうなる、その国では近代デモクラシーなんてオランダとか  
北欧みたいに日本で育つはずがない、ということなんです。

それは結果として 警察、税務署、みたいなそういう行政が  
肥大化して、それで「ギスギスした社会」になってくるわけです。

それで今回の回答である

「裁判で裁かれる人というのは、検事、であります。

~~~~~  
デモクラシー裁判とは検事への裁判のことである」
~~~~~

これに驚く人も多いと思います。

だって日本のマスコミは中世の魔女狩りのように

警察が逮捕しただけで「犯罪者！」ってやるでしょ？

これ見せ付けられて上記原理原則を国民が理解しないように

洗脳させられているんですよ、

これに気づかないといけない。

それで日本人的センスからすると

「裁判で裁かれるのは検事である」ってのは驚きだと思うのだけど

それこそ水戸黄門やら遠山の金さん、という感覚で

役人は今でも「お上」を気取ってるから、そしてそれが

日本の社会風潮としてあるから

みんなびっくりするわけですね

だから日本は経済はある程度成長できたけど(といっても衰退してる)

政治においては近代どころかヨーロッパ中世レベルにある

ということを理解しないといけないから

実は北朝鮮、中国を馬鹿にする人がいるけど日本と実は大差ない

と言えます。

それで日本のマスコミってのはこういう原理原則を

「全く知らない、無知であるから」ああいう報道が出来ちゃうんですね。

近代デモクラシーが根付いてるほかの先進国においては

仮に警察が逮捕しても「それは冤罪で、警察行政権の暴走である

可能性がある、と考えるから、それには判決が出るまでなるべく触れない」

という態度を取ります。

しかし日本は・・・警察が情報を意図的にマスコミにリークして

そしてセンセーショナルに芸能人について「逮捕したぞー」と

やる。

これはだからもうヨーロッパ中世の魔女裁判のときと同じで

そのレベル、水準で日本社会は成り立っている、ということでもあります。

それで「裁判とは検事に対する裁判である」

というのはどういうことか、というと

刑事裁判においては検事が証拠を持ち出して

そして被告側と争います。

ただこの証拠に関しては

「全て合法的に得られたものだけに限定されないといけない」

わけですね、近代デモクラシー裁判は。

中世魔女裁判ならはっきりいえば「証拠はなんでもいい」わけです。

行政の警察が捏造した証拠でも 拷問して引き出した自白の

証拠でもいい。日本でも朝鮮でも中国でも昔は拷問して

自白を引き出すというやり方がとられていました。

日本にいたっては今もですね。

江戸時代なら、拷問をやりまくって、それで最後は

その人が拷問に耐えかねて「恐れ入りました、私がやりました」

と自白させてそれで有罪というのがまかり通っておりました。

戦前の裁判でもこれがまかり通っていて

日本には特高警察というのがいて、この特高警察が

民衆を拷問して、自白させて、有罪にする、ということを

普通にしていました。

だから日本民衆の敵というのが内部にいた、という状況です。

そこで一部の人の特高警察に逮捕されて、拷問されて、

しまいには死ぬ人もいた。

が、近代デモクラシー裁判ではこの態度は絶対に取りませんし

「拷問における自白」などは例えば認められない。

だから上の回答である

「裁判は検事に対する裁判である」から

もし検事がそこで拷問なり監禁なりの方法を使って

自白を強要した、となればそこで「検事はちゃんとした

手続きを経していない。無罪」

となるのが近代デモクラシーの考え方の基礎であります。

だからその容疑者が(判決が出るまでは犯罪者ではない。)

明確に犯罪をした、と誰もがわかる状況であっても

仮に検事はその証拠というのを「法的手続きによらなければ」

だから例えば拷問つかったりして自白したり

嘘の検査結果を乱用して捏造したり、とか

そういうのをした場合には、無罪となるのが

近代デモクラシーであります。

そして検事のその手続きが全て合法であり、少しの不備もあっては

いけない、とされるんです。

だから日本のあり方を考えると分かるけど

日本人の裁判の考え方というのは

近代デモクラシーのそれではなくて

例えば遠山の金さん、とかで見られる「お裁き」と同じなんですね。

だから実は、日本ってのは政治体制としては江戸時代と

同じでありまして、近代デモクラシーなんてとんでもない、

普通の封建制度なんだ、と。

それが分かるわけですね。

封建制度の政治体制と、社会主義の経済体制、

果たしてこれで民衆が幸せになれるのか??

って話でして、歴史を見ればここで民衆は行政権に「萎縮」して

それで何もできないで収奪されてきた歴史があるけど

今の2016年でその数百年前の状態に近似してきてしまってる

という政治構造的な問題があるんですね。



「なぜ外国人投資家や大手海外銀行が

日本市場から引き上げたりするのか」

ってのはもう簡単で、

「この国の政治はデモクラシーでないため

私たちの知るヨーロッパ中世時代の政治体制をとってるため

撤退しよう」ってことなんですね。

冷酷に日本の体制というのは海外から分析されている

と私は知ってます。

それで日本の裁判制度って

例えば検事が起訴するじゃないですか??

ここで裁判官なんかは機能していないですからね、

「裁判とは検事に対する裁判である」

というのを知らないで被告を裁くのが裁判だ、と

魔女狩り裁判レベルで考えてるから

実際の話は99.9%で被告が有罪になる、わけです。

これを外国人に説明したら分かりますが

「え～日本ってそんな政治なの??

ヨーロッパの中世レベルじゃん!

その裁判制度でデモクラシー(民主主義とか民主政体とか言われる)

を名乗るのはちょっとおかしいでしょ」

となります。

だから日本は自称民主主義なんですね。

んで3権分立(さんけんぶんりゅう)ってきつと

多くの読者さんが

小学校とか中学校で習ったと思います。

あれです、行政権と立法権と司法権がありますよ～ってやつ。

これをお互いけん制しあって

民衆が

「行政権に収奪、乱暴されないようにする」

わけですね。

分かりますか、要するに「行政権」が得てして横暴するんです。

それが民衆の長い何百年の歴史で、それを縛り付けるために  
3権分立思想ってのが出来たんです。

警察が点数稼ぎで 一時停止違反とかどうでもいいので  
民衆罰するでしょ？

放置しておくとかあいう横暴ってのがどんどん広がるから、  
それが最終的には例えば日本なら戦前の特高警察になりますから

そういう事態から弱い民衆を守るために  
行政権の暴走を防ぐためにこの3権分立ってのがあ、  
わけです。

が、この考え方を日本の義務教育では「わざと」教えないんですね。

普通に聞いたら「行政権と立法権と司法権があります～」で  
意味不明です。

そうじゃなくて得てして行政権がそれこそ課税とかでもそうだけど  
暴走するんです。それを「がんじがらめにして好き勝手できないように」  
立法権、および司法権が存在する、わけです。

それが近代デモクラシーの考え方としてあります。

それで日本の問題だけど、集団的自衛権の問題がありましたよね、去年。

あれって「何が」問題でしょう??

色々憲法学者も反対はしていたけど私から見たら

「この「学者」たちは勉強をしていないノータリンである」

とっていて、

要するに本質を突いていないわけです。

あの大きな問題ってのはもう一言、

「行政が司法権を篡奪(さんだつ)した」ってのが問題なんです。

要するに法解釈なんてのは行政ができるはずがないんですね。

それは司法の仕事。

が、あれは行政が司法の権利を奪い取って行政自身が

自分で解釈しちゃった、ってのが問題なんです。

となるとその国で到底近代デモクラシーの3権分立が成り立ってる

とはいえないし、

ましてや検事が起訴して検事は全く裁かれないで

被告だけ裁かれます、なんて状況は本当に

中世の魔女狩り裁判と一緒になんですね。

近代デモクラシーのデの字もない。

んで、日本の場合検事が起訴した被告が無罪になることは  
ほとんどないんだけど、

だからいつの間にか

「求刑と判決はほとんど同じ」となったわけですね。

が、これはどういうことか？という

三権分立の話に戻るけど

立法権、行政権、司法権とあって

その行政権と司法権が「一心同体」であって

司法の裁判官、行政の検事ってのが一心同体になっている、

ということです。

だから裁判官が(警察、検察、国税みたいな)行政権力から

~~~~~  
民衆の権利を守るたてとして機能していない、
~~~~~

ってことなんです。

ということはどういうことか？というと

日本ではもうヨーロッパの中世と同じ

「行政権が司法権を含む」になってるんですね。

お互いを監視しあうなんて状態じゃなくて

「行政が司法を兼ねてしまってる」ということです。

だから、最近勘違いした警察官が「警察は3権分立で  
司法権になります」とか言ってるアホが出てきてるけど

もう本当にそれで、警察は行政権なんだけど

「自分たちは同時に司法権なのだ、裁判所には司法権はない」

という主張が出てきているんですね。

(司法警察という言葉が誤解している)

ただこれはもう近代デモクラシーでは

「警察検察が行政権であってそれを司法権が  
検事を裁くのが裁判」であるから

この警察側の主張はもう完全に近代デモクラシーを  
否定している、ということが分かりますかね。

だから芸能人の覚せい剤報道の話に戻るけど

ASCAとか清原、彼らの逮捕を事前に警察がリークして

そしてアホのマスコミが「こいつは犯罪者ー」

とやって 日本国民全体が「自覚なきまま強烈に洗脳されて」

そして「こいつ有罪！シャブ中！牢屋にぶっこめ！」と

「行政権の言うがままに誘導されてる」

この恐ろしさってのがあつてあります。

行政、要するに警察とか検察ってのは不都合なやついれば

「つぶす」んですよ、適当に理由つけて。

それが歴史の教訓だから 三権分立で

近代デモクラシーで

「裁判で裁かれるのは検事である」という概念が作られたのだけど

今の日本はこれがもう機能しなくなつてよ、つてことなんですわ。

そして日本の民衆も民衆で無知な状態に置かれてるから

「あいつはマスコミが警察がいうから有罪だー死刑だ！」

とやるけども

そこに近代デモクラシーの原理原則は存在していない  
と言えるわけです。

この

「裁判で裁かれる人というのは、検事、であります。

~~~~~  
デモクラシー裁判とは検事への裁判のことである」
~~~~~

重要な概念を日本人ってのは「教えられていない、無知にさせられてる」  
のだけど

これは自分で稼ぐ知識を与えられていないのと同様、  
無知にされているんです。

だから情報洪水なんてとんでもない、多くの人は  
「重要なことをほとんど知らないで成人させられてしまってる」  
のですよ。

それで私はブラック会社と1人で労働闘争したけど  
その時なぜ勝てたのか、というと(完全勝利でした。)

これは上のような社会構造の概念を知っていたからです。  
だから「仕掛けるポイント」が分かったってのはあるんです。



んで、私はこういう近代デモクラシーとは何か、とか

そういうのを友人たちに教えていたら

「あいつは危険人物だ」となったんだけど

が、近代デモクラシーという世界基準の当たり前の知識を

人々に共有して、それで人々が考える基準を持つことを

恐れるってのはそれは独裁とか収奪を続けたい為政者の思惑でしか

ないんです。

これに気づける日本人が今のところごく少数となってるのが

日本社会の問題としてある、って私は強烈に報道の人々の反応を見て

思ったので、

人々に私が習った学んだ近代デモクラシーの「知識体系や考え方」を

メルマガで共有するのはとても大事である、って思ったんですね、

だから今号で書いた。

それでもっと詳しい話は思想家である小室直樹という人がいて

トランプ当選を当てた副島先生の先生でもあるのだけど

この人の「日本いまだ近代国家に非ず」という本があるから

良かったら読んでみてください。

ここで近代デモクラシーとは何か、ってのがわかって  
それで日本の「異様さ」が理解できるようになります。

それで私は海外にも拠点があるから、一応自国を外から見るのだけど  
海外からは

まだ、日本は近代デモクラシーの導入、および  
資本主義の導入が全然出来ていない国、  
と言う風に分析されるわけですね。

これは日本に留学に来てる外国人たちは冷酷にそういう分析をしていて  
彼らも表向きは「日本大好きです～アニメ好きです」とやるけど

仲良くなるとそういう問題点を私によく言ってきます。

当然外国人投資家もそれをしっかり見ておりまして  
日本に投資というのはしないわけですし

また日本はそこで成長できる国家体制をもてていないから  
衰退するのはこれ、必然、なんですね。

だから日本国内にいるとそれを主観で見えてしまうけど  
外から冷酷に見るとこのようなカントリーリスクというのが  
日本の持ってるリスクと言う風に分析できるんです。

だから本当は日本の識字できる人たち、だから  
この行まで読むあなたのような人たち、が理解して  
変えて行く必要があるんだと思うわけです。  
人々に知識を知らせるだけでも重要です。

私はメルマガを通じてこれからのリーダーみたいな人が  
絶対将来育っていくだろうと色々メールもらう中で確信してまして、  
そういう人はこういう上記のような世界に通じる知識を  
得ていくことが大事だと思うんですね。

そのためにどんな分野でも「原理原則」を知らないといけないのだけど  
近代デモクラシーの原理原則というのは上に書いたようなことが  
重要な要素としてある、ってことを知っていただきたいな～と  
思います。

そして

「裁判とは 被告ではなく 検事を裁く裁判である」

って重要なことを日本では義務教育でしか教えないで  
大学でようやく教えるのだけど

大学でそういうのを学んだ人も情報発信をして  
その知識体系を人々に伝えるってのは大事だと、思う。

受験勉強で勉強しただけの試験エリートだけが  
そういう重要知識を得られるという  
今の社会構造は間違ってるんです。

誰でも識字できる人は世界基準の教育を受ける環境が必要です。

多くの人が自立するためには、その自立のための  
原理原則の考え方が大事だし、

いまだと近代デモクラシーおよび、資本主義だけど  
その考え方を理解しないと、自立する人は育たないんですね。

私の大学の後輩たちもこのメルマガ最近見てくれてるんだけど  
やはり私たちが学んだ重要な公益性のある知識を  
人々に共有して、人々が思考力や判断基準を持つことを促すことが  
大事である、ってのが私の考え方です。

ということでちょっと長くなってしまいましたが

クイズ【裁判とは一体「誰を」裁く裁判でしょう？】

の答えは

「裁判で裁かれる人というのは、検事、であります。

~~~~~  
「デモクラシー裁判とは検事への裁判のことである」
~~~~~

となります。

これが分かると日本の問題は行政が強すぎるという問題がある

と分かるし、

それが社会の活力を奪っていて「どよーん」とした空気感を

作ってるのも「見えてきます」。

こういうのが見えてくると、「自分でお金稼ぐ」なんて

簡単なんだと私は思うんですね。

だってそれが見えればその自分で稼ぐ自立の必然性を

「認識」できるし、そしたら動機モチベーションは

変な何十万円の啓蒙セミナー行くよりも長期で維持できて

それが「継続力」を生み出して最終的に収益を

私の経験上、生み出すからです。

だから多くの日本人が自立して人生を前に進めるために  
この社会構造の問題点とかを把握するのは重要なんですね。

次の世代の日本人にどういう社会を残すのか、ってのは  
私たち今30代とかもしくは40代の  
オッサン世代にかかっていると思うので

後世の世代に「老害」とか馬鹿にされないためにも

私たちの新しい世代の人らが  
こういう近代デモクラシーの  
原理原則の知識を理解しておきたいところです。

それではまた！

ゆう